

PRラッピングバス始動！

4月1日㊦、町をPRするラッピングを施した高速バスの運行が開始されました。このバスは銚子から道の駅発酵の里こうざきを經由して東京八重洲間を1日1～2本運行しています。

デザインは江戸時代から続く老舗酒蔵「鍋店」、「寺田本家」の2軒、1000年以上の長い歴史を持つ「神崎神社」、町の最大イベントである発酵の里こうざき酒蔵まつり、全国からランナーが集まる神崎発酵マラソン大会の写真を使用しています。

完成披露は道の駅発酵の里こうざきで行われ、体験乗車した米沢保育所の園児たちはなんじゃもんたラッピングバスの前で記念撮影しました。

神崎町をPRするために毎日運行しておりますので、ご注目ください！



完成したラッピングバス

「神崎町DX推進計画」を策定！

神崎町DX推進計画では、右の3つを基本方針としており、それぞれの目指すべき姿を定めながら推進し、業務効率化を図るとともに、町民サービスの向上を目指して取り組みます。

令和5年度はデジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1）に以下の5事業が採択されました。

基本方針
①デジタル技術を活用した住民サービスの向上
②デジタル化による行政運営の効率化
③デジタル技術の安心・安全の確保及び職員の意識改革と人材育成

①スマート農業推進事業

人・農地プランの中心経営体に位置付けられた認定農業者を対象に「スマート農機導入経費」を補助し、農産物の収量の向上や就農者の省人化の推進を図ります。

②LINE公式アカウント機能拡張事業

多くの人が利用しているLINEの公式アカウントの機能強化を行い、各種健診・教室や公共施設の予約窓口、各種申請窓口、通報窓口の設置をすることで、身近なポータルアプリとして利便性向上を図ります。

③多言語対応ごみ分別促進アプリサービス

スマートフォン向けごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」を活用し、ごみの分別検索やごみ収集日カレンダーなど「ごみの分け方・出し方」に関する情報を発信します。また、多言語化のニーズが高まっていることから、5ヵ国語を多言語対応します。

④観光情報デジタル化推進事業

町内観光名所を紹介する「ことりっぷ」の電子書籍版を作成し、HPやSNS、4月から運行している高速バスにQRをラッピングすることで、神崎町の魅力を町内外に発信します。

⑤電子黒板の活用によるICTの効果的活用とデジタル化の促進事業

電子黒板やデジタル図鑑（3DAR機能付き）を導入し、タブレット端末の効果的活用と教材のデジタル化を促進し教育の質向上を図ります。